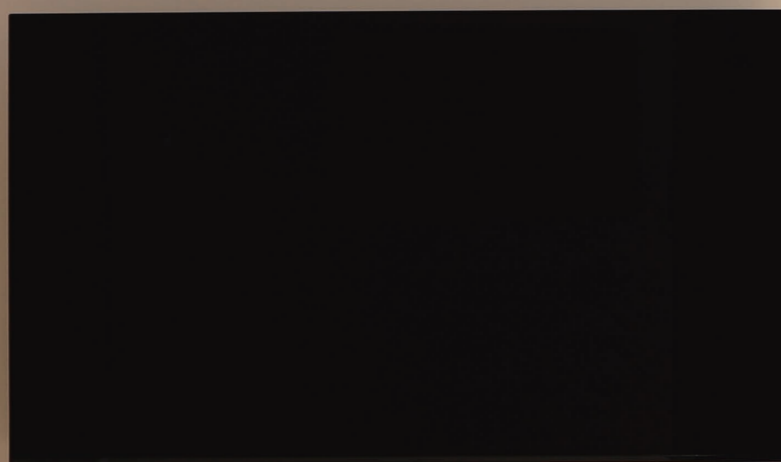


MASHIKO POTTERY JAPAN
2022 CATALOG





益子焼は江戸時代から続く陶器の産地です。都心に近いという地の利を活かし、後発ながら日用雑器の生産で日本有数の産地になりました。1920年代、民藝運動で有名な人間国宝・濱田庄司氏が移り住んで以来、様々な作家が益子に移住するようになり、それぞれが型にとらわれない自由な制作や生活スタイルを営むようになっていきます。それがやがて産地としては他に類を見ない独特の風土を根付かせていきました。現在も多様性に富んだ多くの作家が益子で制作をして暮らしています。その多様性は食の器のみならずインテリアや建材にも活かされています。もともと陶芸は見せ方・売り方の裾野が広く、総合芸術的な側面があります。産地・益子、そして陶の可能性をぜひご覧ください。

MASHIKO POTTERY JAPAN

2022 CATALOG

estudio432 鏡・照明器具 他

utsuwa-MOKURI . . . 陶スピーカー

キマノ陶器 壁掛けフック

清窯 傘立て

Clay Studio2795 . . . サイドテーブル・照明器具 他

健一窯 傘立て・花器

アトリエ桜野 陶板

聚 椅子・ボトル 他

薄田窯 壁掛け時計 他

南窓窯 花器 他

萩原製陶所 植木鉢

ふくしま窯 タイル

益子焼について

estudio432

土の風合いを生かして、食器や照明、プランターなどのインテリアまで製作しています。暮らしがちょっと楽しくなるをコンセプトにものづくりしています。



es-01

陶のあかり

異国の街並みの風景をデザインした柔らかな色合いのランタン

w125 × d95 × h140mm

¥19,000(+tax)



es-07

れんこんお玉スタンド

れんこんをポイントに使ったおしゃれお玉スタンド。

w120 × d120 × h55mm

¥1,800(+tax)



es-08

しゃもじスタンド

しゃもじをスタイリッシュに収納できるキッチンアイテム。

w110 × d62 × h85mm

¥1,700(+tax)



es-03・04

壁掛けミラー (大・小)

鏡の額縁にオルテガ模様を彫刻した壁掛けミラー。

大 | w280 × d230 × h25mm

¥8,800(+tax)

小 | w155 × d155 × h25mm

¥3,600(+tax)



es-02

蚊取り線香スタンド / キャンドルスタンド

夏季は蚊取り、冬期はキャンドルスタンドの2way仕様。

w170 × d120 × h100mm

¥3,200(+tax)



es-05・06

プランター (大・小)

部屋のインテリアに合う様なシックな色合いのスクエアのプランター。

大 | w145 × d145 × h240mm

¥7,600(+tax)

小 | w98 × d98 × h105mm

¥3,000(+tax)

清水秀輝

- 1974 千葉県出身
- 1996 阿佐ヶ谷美術専門学校 プロダクトデザイン科 卒業
- 1998 藤原陶房に入社 藤原郁三氏に師事
- 2003 個展・クラフトフェア・陶器市などで活動中



utsuwa-MOKURI

オリジナルブランド「ubusuna」は益子の土と釉薬を使ったプロダクトシリーズです。アクセサリ、器、インテリア、ステーションナリーなど、器だけではない陶の可能性を広げていきます。



ubu-sp-01
ubusuna Speaker
益子青磁釉
Φ 120mm
1set ¥25,000(+tax)



ubu-sp-02
ubusuna Speaker
糠白釉
Φ 120mm
1set ¥25,000(+tax)



ubu-sp-03
ubusuna Speaker
飴釉
Φ 120mm
1set ¥25,000(+tax)



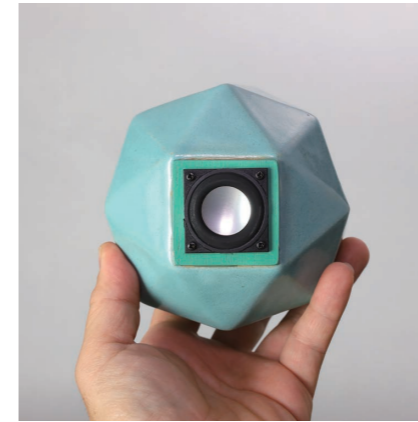
ubu-sp-04
ubusuna Speaker
黒釉
Φ 120mm
1set ¥25,000(+tax)



ubu-sp-05
ubusuna Speaker
柿釉
Φ 120mm
1set ¥25,000(+tax)



背面は金メッキプラグを使用
バナナプラグに対応



益子焼の伝統釉5色を使った陶のスピーカーです。
デスクの上に乗る小ぶりなサイズですのでインテリアの一部としても音楽を楽しむことができます。
(※音を出すためには再生機、及びアンプが別途必要となります)

スピーカーユニット インピーダンス：3Ω
定格入力：4W
最大出力：8W
Φ 12cm 密閉型エンクロージャ

※2個セット販売（同色2個）
※完全受注生産となります。
※ユニットやプラグなどの仕様は変更になる場合がございます。

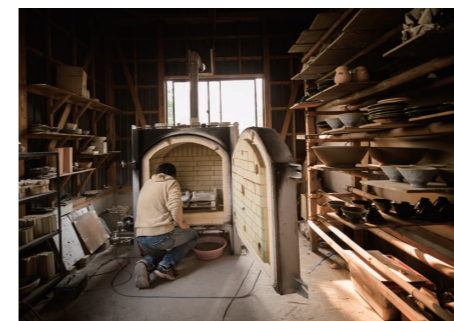


各色ごとに専用のスタンドがあります（オプション販売）
1set ¥1,000(+tax)
(同色2個一組)



u b u s u n a
～その土地で 産まれ 育まれたもの～

産土 (ubusuna) の意味はそのひと（もの）が産まれた土地のこと。益子の土を使い益子に住む人が脈々と受け継いで来た益子焼。そのエッセンスを持ち帰り、暮らしの中で生かしていく。ubusuna をみて益子の空気を思い出してもらえたらうれしいです。



株式会社オフィスましこのね

utsuwa-MOKURI

2018 プロジェクト始動。

2019 益子焼のオリジナルブランド

「ubusuna」シリーズの制作を開始。

OEM やオンラインストア販売などを中心に活動中。

代表取締役：栗谷昌克



キマノ陶器

地元の原料にこだわり、土から全て手作りをしています。
沖縄で培った技術と益子の素朴な力強さを組み合わせた器づくりを目指しています。



こんなものがあればいいなという願望で壁掛けフックを作りました。部屋をちょっと楽しくさせるような雰囲気を目指しました。

kt-01-02

壁掛けフック

形は2パターン・色のバリエーションが多彩です。

パターン A | w65 × d30 × h10mm

パターン B | w70 × d27 × h10mm

¥1,600(+tax)



キマノ陶器

2011年 木間伸哉 益子窯業指導所研究生終了

2012年 木間 彩 Wimbledon College of Art London 卒業

2011年 共に沖縄県読谷村の横田屋窯 知花實氏に師事 ~ 2018年

2020年 益子町生田目にて『キマノ陶器』開業



清窯

益子焼の伝統を守りながらその時代に合った新たな製作に挑戦しています。

現在は玄関入口や中に家族全員分の大きな傘立てがなかなか見られなくなっていると思います。そこでコンパクトでシンプルな一人用傘立てです。杖などや靴べら立てなどにも仕様可能です。伝統釉を使いながらの赤絵付けや掻き落とし技法での器作りと新たな白マット釉で表現した器作りなど小物から大物まで製作しています。



kg-01

シングル傘立て

w125 × d125 × h220mm

¥9,000(+tax)



大塚一弘

1966年 7月益子町に生まれる

1987年 東京デザイナー学院工業工芸科卒業(卒業展にて奨励賞受賞)

1988年 県窯業支援センター(元/栃木県窯業指導所) 研究生終了

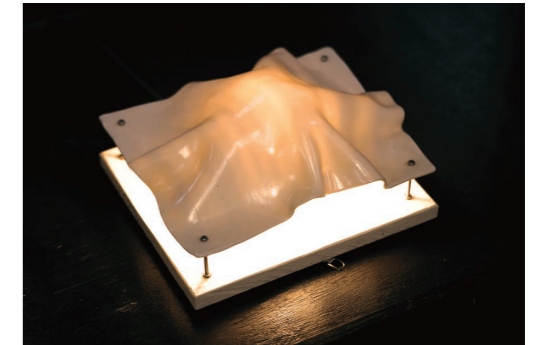
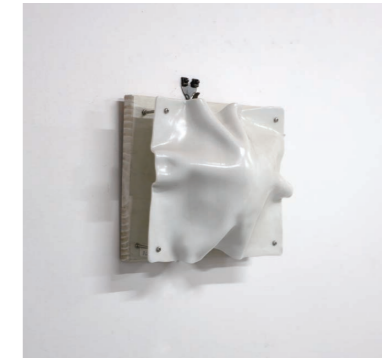
1989年 父 大塚清章の元で「清窯」2代目として作陶に励む

2003年 「ぶろじぇくと益子」結成、代表を務める



Clay Studio 2795

益子に工房を構えて43年。現在では、ギャラリースペース、プライベートゲストハウスを設け、工房見学や作品を見る事ができます。土を素材として、いろんな分野に提案していきたいと思っています。



cs-01 横尾聡
茶青磁洗面鉢
茶青磁器なので清潔感があります。
w370 × d370 × h130mm
¥40,000(+tax)

cs-03 浅田恵美子
照明器具
置いても掛けても使用できます。やわらかい光のあかりです。
w200 × d170 × h120mm
¥10,000(+tax)

cs-02 横尾聡
サイドテーブル
陶器のカケラを再利用したリサイクルテーブルです。
w450 × d450 × h30mm
スタンド高 720mm
¥35,000(+tax)



ClayStudio2795 横尾聡・浅田恵美子

京都出身
1978 益子に築窯
2017 Clay Studio 2795 ギャラリー開設

益子を中心に日本各地、韓国、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、中国（海外）等でグループ展、ワークショップ開催。



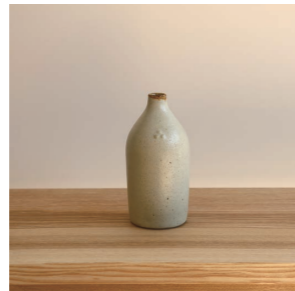
健一窯

昔ながらの伝統的な益子の釉薬を使い、今の生活様式に合う物を作っています。



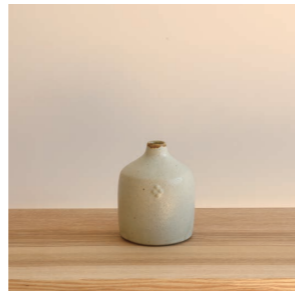
アトリエ桜野

自然豊かな環境で、四季を感じながら制作出来る事を幸せと感じながら暮らしています。



keg-02 大塚菜緒子
一輪花入れ
w70 × d70 × h170mm
¥5,400(+tax)

シンプルであたたかみのある『白』はどんな緑や花にも合います。ドライフラワーとの相性はとても良いです。

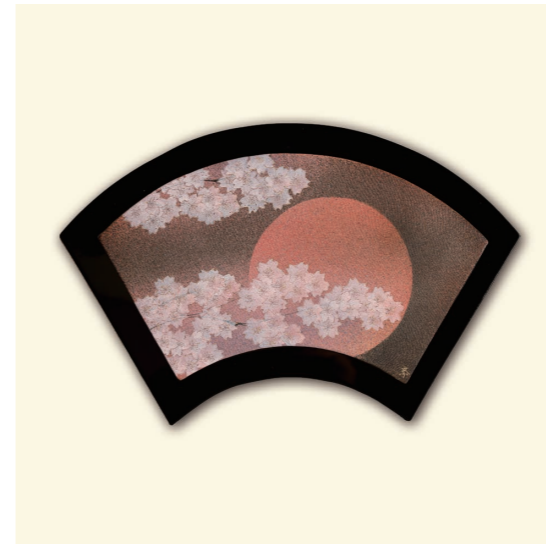
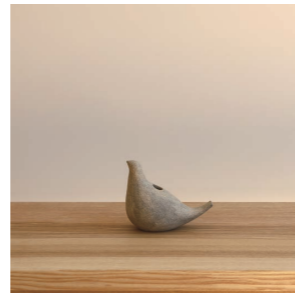


keg-03 大塚菜緒子
一輪花入れ
w90 × d90 × h135mm
¥5,400(+tax)

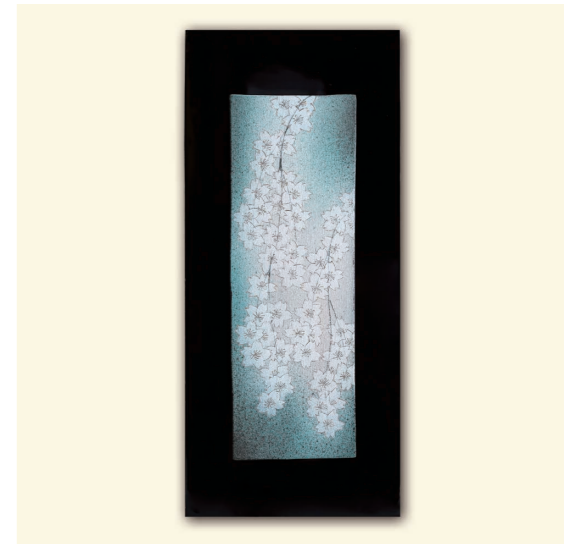


keg-01 大塚雅淑
傘立て
場所を取らないコンパクトサイズ。
w45 × d45 × h150mm
¥7,200(+tax)

keg-04 大塚菜緒子
はと花入れ
土の色を生かした素朴な色と質感は、花たちをひきたてます。花を生けず、そのまま飾ってもかわいいです。
w55 × d120 × h95mm
¥5,000(+tax)



sk-01
桜陶板 扇型
w550 × d350 × h30mm
¥160,000(+tax)
※現品のみとなります。



sk-02
桜陶板
w550 × d240 × h30mm
¥100,000(+tax)
※現品のみとなります。



大塚雅淑

- 1976年 益子町に生まれる
- 1995年 栃木県窯業指導所 伝習生、研修生
- 1997年 父・伝統工芸士 大塚健一に師事
- 2008年 国画会会友になる
- 2014年 伝統工芸士に認定

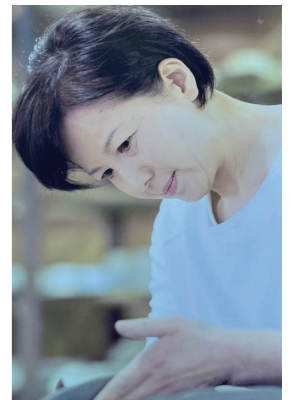
大塚菜緒子

- 1981年 茨城県潮来市に生まれる
- 2000年 明星大学日本文化学部造形芸術学科にて陶芸を学ぶ
- 2004年 卒業制作展にて優秀賞受賞 卒業
- 2004年4月 大塚健一に師事 益子にて作陶



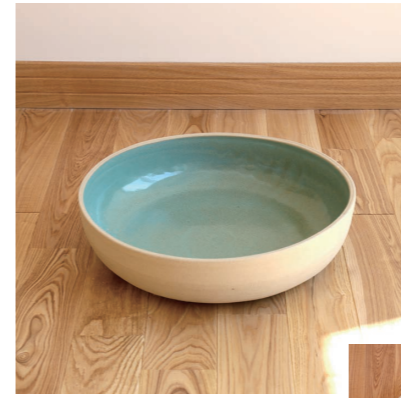
島田恭子

1954年、茨城県桜川市に生まれる
日本橋高島屋、南麻布ギャラリー旬、
ニューヨーク gallery・gen、日本橋東急、
宇都宮東武、水戸京成、宇都宮青木ギャラリー
益子ギャラリーつかもと、やまに大塚などにて
個展を開催



聚 (じゅう)

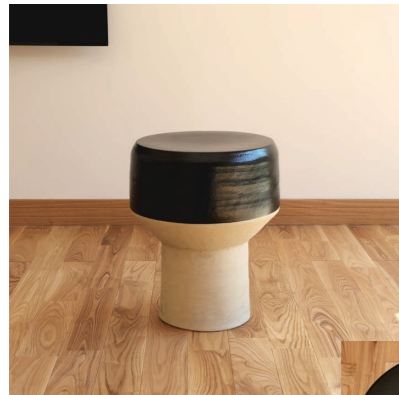
益子焼の窯元と連携して商品開発し、流通支援を行っていきます。



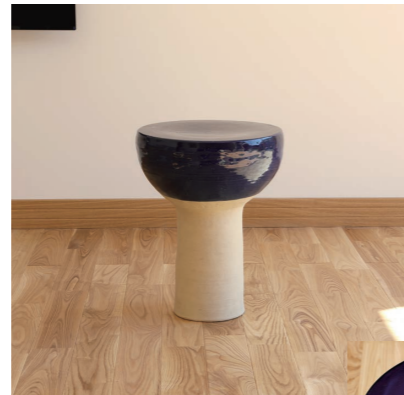
J-03
盤 (丸)
Φ 385 × h100mm
¥ 60,000(+tax)



J-04
盤 (長方)
w430 × d245 × h100mm
¥ 60,000(+tax)



J-01
椅子
w335 × d215 × h420mm
¥ 200,000(+tax)



J-02
椅子
w325 × d165 × h420mm
¥ 200,000(+tax)



J-05
ボトル (長)
Φ 105 × h325mm
¥ 30,000(+tax)



J-06
ボトル
Φ 155 × h170mm
¥ 30,000(+tax)



J-07
ボトル (中)
Φ 255 × h120mm
¥ 30,000(+tax)



株式会社 聚
2022年6月10日設立

事業内容
①商品開発事業
②製造管理事業
③流通支援事業
④卸販売事業

薄田窯

薄田窯は、昭和46年、父・薄田浩司が始めた窯元です。それから50年、現代の暮らしに合ったシンプルながらもあたたかみのある器を小さな工房で製作しています。日々の暮らしに彩りを添えるような作品作りを目指しています。

南窓窯

日常の生活を豊かに演出する器達を制作しています。



sg-01 壁面時計Φ 155 × h20



sg-04 壁面時計Φ 135 × h20



sg-05 壁面時計Φ 155 × h20

壁面時計

シンプルながらもあたたかみのあるデザイン。さりげなく個性を演出します。
各¥5,400(+tax)



sg-06 壁面時計Φ 125 × h20



sg-07 壁面時計Φ 125 × h20



sg-08 壁面時計Φ 140 × h20

sg-02 陶箱

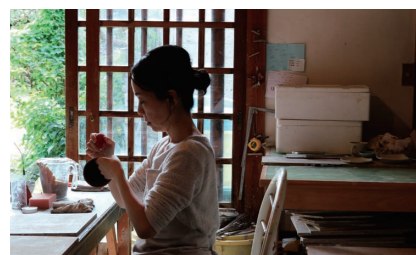
存在感のある箱型の器は食卓を華やかに彩ります。
w170 × d140 × h35mm
¥6,500(+tax)



sg-03

8寸プレート

使いやすいサイズ。味わいのあるボタニカル柄のデザインです。
Φ 240 × h25mm
¥5,400(+tax)



薄田いと

益子町生まれ

1999年 栃木県立窯業指導所伝習生 終了
2000年 同 研究生 終了
2007年 日本橋・ギャラリー開 親子展～2015年
2017年～益子・つかもと作家館 個展
2019年 新宿高島屋 グループ展
2019年～日本橋丸善 グループ展



ng-01 石川雅一
花器
Φ 115 × h190mm
¥19,000(+tax)



ng-02 石川圭
花器
Φ 120 × h175mm
¥12,000(+tax)



ng-03 石川雅一
鉢
Φ 190 × h70mm
¥5,200(+tax)



ng-04 石川雅一
鉢
Φ 190 × h70mm
¥4,800(+tax)



ng-05 石川圭
湯呑
Φ 75 × h95mm
¥3,000(+tax)



ng-06 石川圭
豆ゆのみ
Φ 55 × h75mm
¥1,600(+tax)

石川雅一

1957年 宇都宮に生まれる
1976年 栃木県立宇都宮高等学校卒業
栃木県窯業指導所入所、伝習生となる
1977年 同所研修生となる、かたわら村田浩氏の仕事を手伝う
1978年 岐阜県久々利大萱の吉田喜彦氏に師事
1983年 合田陶器研究所で仕事をする
1985年 現在地に仕事場、登り窯を築き独立

石川圭

2011年 裏千家学園卒業
2012年 濱田晋作、友緒両氏に師事
2015年 父・石川雅一のもと作陶開始



萩原製陶所

益子の伝統釉薬を使い、食器を中心に作品を製作しています。



ふくしま窯

益子の伝統的な材料・技法を使い、生活に根ざした物を考えることで、今の時代にしか生まれ得ない伝統のあり方を模索しています。



hs-01
植木鉢
Φ 200 × h330mm
¥ 24,000(+tax)



hs-02
プランター
Φ 200 × h330mm
¥ 36,000(+tax)



fg-01
チャボタイル
w100 × d100
× h22mm
¥ 3,600(+tax)



fg-02
ツバメタイル
w100 × d100
× h22mm
¥ 3,000(+tax)



fg-03
ハケメタイル
A
w100 × d100
× h22mm
¥ 2,400(+tax)



fg-04
ハケメタイル
B
w100 × d100
× h22mm
¥ 2,400(+tax)



萩原芳典

1974年 栃木県益子町 萩原製陶所5代目として生まれる
1994年 栃木県窯業指導所 伝習生・研究生修了
2011年 NHK鑑賞マニュアル 美の壺に出演
2014年 益子焼伝統工芸士認定
2019年 国画会 会員推挙



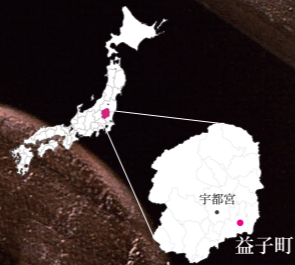
福島晋平

1983年 益子町生まれ
2006年 金沢美術工芸大学 彫刻専攻科
2010年 栃木県立窯業技術支援センター終了



益子焼

Mashiko Pottery Japan



益子焼の起源は1852年（江戸時代）、栃木県茂木生まれの大塚啓三郎が茨城県笠間にて陶技を学び、益子町に窯築したのが始まりとされます。その4年後には黒羽藩の庇護を受け、窯業地として発展していきました。全国各地から陶工や絵師が益子に入り技術を伝えたと言われます。益子では、壺、水甕、土瓶など日常生活に必要な陶器の生産を行なっていました。良質な粘土が豊富で、東京に比較的近い場所にあったため、やがて日本でも有数の陶器産地になりました。

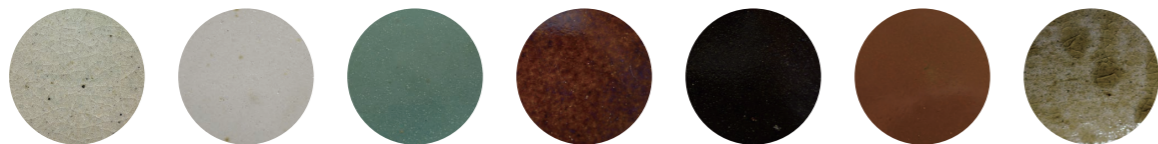
1924年、濱田庄司（人間国宝）が益子に移住してきました。益子に住む他の職人に影響を与えながら、「用の美」や「日常品の美しさ」を強く認識していた柳宗悦とともに「民藝運動」を推進しました。この後から益子焼は「芸術作品」としての側面を持つようになります。やがて「益子焼」は日本だけでなく、世界でも広く知られるようになります。このイデオロギーは今日も続いており、益子で生み出される作品は世界中の人々に愛されています。現在、益子焼の窯元（個人作家も含む）は300軒近く、販売店は50以上あるとされ、伝統技法に囚われることのない、自由な制作で多種多様な陶器が日々生み出されています。

陶土

昔から多くの陶工が良質の粘土を求め益子に移り住んできました。現在では全国各地の粘土を簡単に入手することが可能になりましたが、益子の粘土を好んで使い続ける作家は未だ多くいます。益子の土は鉄分を少量含み砂分が多く、耐火性が高いのが特長です。きめが粗く、粘り気が少ない為、成型しやすい土とはいえません。そのため厚みは肉厚にはなりますが、益子らしい素朴で民芸的な魅力を感じさせる作品が生まれます。

益子の伝統釉

昔は流通の便が悪く、荷馬車などを使い運搬していた為、栃木県内で採掘された特有の鉱物を利用して釉薬が作られてきました。益子の伝統釉薬で使われている特有の素材として芦沼石、大谷津砂、寺山白土が挙げられます。いずれも県内で採掘されたものです。現在では一部は採掘が出来なくなってしまい、代替の素材を利用していたり、時代の流れで調合が変化している部分もありますが、現在も益子焼伝統の釉薬が受け継がれています。



並白釉 糠白釉 糠青磁釉 飴釉 黒釉 柿釉 灰釉

益子焼の定義…栃木県芳賀郡益子町に由来する伝統的な技術・技法により栃木県芳賀郡益子町及びその周辺地域で生産された陶磁器製の急須・コップ・杯・ぐい呑・皿・サラダボール・茶わん・徳利・鉢・ビール用のカップ・水差し・湯飲み・飯椀・コーヒーカップ・マグカップ・つば・釜飯用の釜と蓋・花瓶・絵皿・飾り壺（2020年商標登録/益子焼協同組合）



販売元 / お問い合わせ

有限会社かじ庄 (Kajisho Co., Ltd. est.1955)
代表取締役 渡邊吉人 Yoshito Watanabe
〒321-4227 栃木県芳賀郡益子町東田井 823-7
Mail | yoshito@kaji-sho.com
Mobile | 090-4052-1061
Fax | 0285-85-5510
Web | <http://kaji-sho.com>

発行 | 益子町商工会 (Tel: 0285-72-2398)
撮影・構成 | 株式会社オフィスましこのね
撮影協力 | 窪木邸 (下野市)